

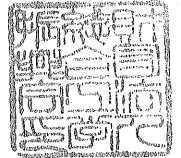
平成 21 年 3 月 6 日

文部科学大臣

塩 谷 立 殿

東京都文京区本郷 2 丁目 1 7 番 5 号
ツイン壱岐坂 1102 号室

財団法人 総合工学振興会
理事長 吉田 邦夫



平成 21 年度事業計画書及び収支予算書の届出について

平成 21 年 1 月 24 日開催の第 2 回理事会及び評議員会において、平成 21 年度事業計画書及び同収支予算書が承認されましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等の施行に伴う文部科学省関係省令の整理に関する省令（平成 20 年文部科学省令第 36 号）第 1 条の規定による廃止前の「文部科学大臣の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則」第 6 条の規定に基づき、関係書類を添えて届出いたします。

添付書類

1. 平成 21 年度事業計画書
2. 平成 21 年度収支予算書
3. 第 2 回理事会・評議員会議事録

平成 21 年度事業計画書

1 事業の期間

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までとする。

2 事業方針

事業計画に基づく研究助成事業と人材育成事業を実施する。

助成事業として研究奨励、国際交流推進、科学技術普及啓発への助成を行う。

人材育成事業は公開セミナー、国際シンポジウムを行う。

経済環境は厳しいけれども賛助会員の増加に努め、且つ管理費の節減を継続し財団事業の維持発展を計る。

3 事業の内容と取り組みについて

3.1.1 研究助成事業

寄附行為に謳った、国民生活の向上に役立つ、優れた研究課題を選考の対象とし、その研究を実施している大学および公的研究機関の研究者に対して研究奨励金を交付する。

研究分野としては情報科学、化学材料工学、機械工学、生物工学、社会環境工学等の各種工学分野を対象として、ホームページ上で公募する。

1 件 70 万円で 6 件分の 420 万円を計上する。

3.1.2 国際交流推進のための助成

科学技術の振興に関する国際交流の推進のための助成を行う。

海外出張費、専門家招聘の援助なども含め 100 万円計上する

3.1.3 科学技術普及助成

国民生活の向上に役立つ科学技術の普及啓発事業に関し、それら事業を推進する人達若しくは機関を助成するために 50 万円を計上する。

3.1.4 研究助成推進費

上記の諸事業を円滑に推進する費用として 100 万円を計上する。

3.2 人材育成事業

3.2.1 公開講座の開催

科学技術の総合的な情報交流を目的として公開講座を実施する。

独立行政法人物質・材料研究機構の公開セミナーに協賛 60 万円計上する。

公開シンポジウム等の主催若しくは共催・協賛のために 40 万円計上する。

3.2.2 国際シンポジウム開催経費

国際的な科学技術の振興に重点を置いて、科学技術シンポジウムを主催若しくは共催・協賛するために140万円計上する。

3.2.3 人材育成推進費

人材育成に関する事業推進のための費用として100万円を計上する。

4 管理費について

財団は研究助成事業と人材育成事業以外の事業は行っていない。

従って発生する管理費は前記2つの事業に配賦される。

配賦比率は研究助成事業66%、人材育成事業34%となる。

平成21年度収支予算書

収入予算

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 基本財産運用収入	900,000	2,800,000	△ 1,900,000
2. 運用財産運用収入	1,500,000	4,000,000	△ 2,500,000
3. 賛助会費収入	5,400,000	5,400,000	0
4. 寄付金収入	0	0	0
5. 研究助成取り崩し	10,000,000	0	10,000,000
6. 普通預金利息	10,000	10,000	0
当期収入合計 (A)	17,810,000	12,210,000	5,600,000
前期繰越収支差額	2,497,562	9,375,574	△ 6,878,012
収入合計 (B)	20,307,562	21,585,574	△ 1,278,012

支出予算

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異
1. 事業費	15,313,500	10,100,000	5,213,500
(1) 研究助成事業	10,140,910	7,100,000	3,040,910
研究奨励助成	4,200,000	4,200,000	0
国際交流助成	1,000,000	1,000,000	0
科学技術普及助成	500,000	500,000	0
研究助成推進費	1,000,000	1,400,000	△ 400,000
給料手当	2,257,200	0	2,257,200
会議費	39,600	0	39,600
旅費交通費支出	137,940	0	137,940
通信費	166,320	0	166,320
印刷消耗品費	47,520	0	47,520
地代家賃	677,160	0	677,160
水道光熱費	43,890	0	43,890
雑費	71,280	0	71,280
(2) 人材育成事業	5,172,590	3,000,000	2,172,590
公開講座	1,000,000	1,000,000	0
国際シンポジウム開催経費	1,000,000	1,000,000	0
人材育成推進費	1,400,000	1,000,000	400,000
給料手当	1,162,800	0	1,162,800
会議費	20,400	0	20,400
旅費交通費支出	71,060	0	71,060
通信費	85,680	0	85,680
印刷消耗品費	24,480	0	24,480
地代家賃	348,840	0	348,840
水道光熱費	22,610	0	22,610
雑費	36,720	0	36,720
2. 管理費	1,130,500	5,864,000	△ 4,733,500
給料手当	180,000	3,600,000	△ 3,420,000
会議費	540,000	400,000	140,000
旅費交通費支出	11,000	200,000	△ 189,000
通信費	28,000	270,000	△ 242,000
印刷消耗品費	8,000	50,000	△ 42,000
地代家賃	54,000	1,134,000	△ 1,080,000
水道光熱費	3,500	80,000	△ 76,500
公租公課	54,000	70,000	△ 16,000
雑費	252,000	60,000	192,000
支出小計	16,444,000	15,964,000	480,000
(1) 退職給与引当金	0	0	0
(2) 有価証券購入支出	0	0	0
(3) 有価証券評価損	0	0	0
(4) 雑損	0	0	0
当期支出合計 (C)	16,444,000	15,964,000	480,000
当期収支差額 (A) - (C)	1,366,000	△ 3,754,000	5,120,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	3,863,562	5,621,574	△ 1,758,012

(注) 1. 借入れ限度額：借入金なし

2. 債務負担額：債務なし

平成21年度収支予算書における管理関係費用配賦の詳細

基本方針

1. 管理関係費用は管理費と研究助成事業費、及び人材育成事業費へ配賦する
2. 管理費として管理関係費用の内
給料手当、旅費交通費、地代家賃、水道光熱費は5%、
通信費、印刷消耗品費は10%、
雑費は会計監査人報酬その他で70%、会議費は90%配賦
3. 管理関係費用から管理費を差し引いた額を公益事業費へ配賦
4. 内訳は研究助成事業費が66%、人材育成事業費が34%

	管理費	配賦管理費	事業費への配賦額	研究助成66%	人材育成34%
給料手当	3,600,000	180,000	3,420,000	2,257,200	1,162,800
会議費	600,000	540,000	60,000	39,600	20,400
旅費交通費	220,000	11,000	209,000	137,940	71,060
通信費	280,000	28,000	252,000	166,320	85,680
印刷消耗品費	80,000	8,000	72,000	47,520	24,480
地代家賃	1,080,000	54,000	1,026,000	677,160	348,840
水道光熱費	70,000	3,500	66,500	43,890	22,610
公租公課	54,000	54,000	0	0	0
雑費	360,000	252,000	108,000	71,280	36,720
合 計	6,344,000	1,130,500	5,213,500	3,440,910	1,772,590

財団法人 総合工学振興会
平成20年度第2回理事会議事録

1. 日 時 : 平成21年1月24日(土) 13時00分~14時00分
2. 場 所 : 山上会館会議室002(本郷東大構内)
3. 出席者 : 監事:佐分利正彦
理事:吉田邦夫理事長、野水重勝、小川昭二郎、西郷和彦、高田雅介
鯉沼秀臣、高橋 保、中島 幹、堤 敦司、水野哲孝
オブザーバー:尾嶋正治選考員
4. 欠席者 : 佐美次彦監事、
5. 定足数 : 会議に先立ち事務局長福田義夫から本会議定足数が報告された。
理事10名中10名出席で理事会は成立
7. 議長 : 規定により議長は吉田邦夫理事長が行う
8. 議事録署名人の選出: 議事録署名人として西郷和彦理事と水野哲孝理事が選任された
9. 審議事項: 審議事項は下記の通り
 - (1) 理事長挨拶: 平成21年度事業計画と予算を審議願いたい。また平成22年度新公益法人移行を視野に入れて、本会議後制度改革に伴う財団の方向性について懇談会を持つ
 - (2) 平成20年度事業概要報告(期中): 事務局長福田義夫から以下の報告
研究助成金事業
 - 研究奨励金交付: HP公募、期間:平成20年7月1日~8月8日
70万円×6件、決定・不採択通知書:平成20年10月17日郵送&HP公表
 - 国際交流推進助成: 2件協賛
 - 科学技術普及助成: 前年に引き続き小中学生向けに天文学教育へ
人材育成事業
 - 公開講座: 2回/M公開セミナー協賛
 - 国際シンポジウム開催: 台湾での学会主催、ストックフォルムでの協賛賛助会員: 退会1.5口、新規加入4口
会議
 - 平成20年度第1回理事会、評議員: 決算書(20年5月10日)
 - 研究奨励金交付の選考委員(20年9月22日)
 - 平成20年度第1回臨時理事会、評議員会: 研究奨励金交付者承認(20年9月30日
書面表決)その他
 - 文部科学省の現地検査(20年8月26日)
 - 新公益法人制度改革の説明会(20年8月25日、12月10日)
 - (3) 平成21年度事業計画書案及び収支予算案審議: 事務局長福田義夫説明
 - 平成20年度同様に研究助成と人材育成事業を実施、管理費削減を継続して、賛助会員増を推進する
 - 利金と賛助会費の収入額で計画した事業支出には不足するので運用財産取崩しを行う
但し、別途推検討進中の事業からの収入が得られたら事業規模を拡大したり、取り崩

しを取止めることも起こる

- 審議の結果出席評議員全員の賛成で平成21年度事業計画案は承認された。

(4) 役員人事

- 評議員1名の増員

富永信秀氏の承諾が得られた旨事務局長福田義夫から報告あり、理事全員の賛成で

富永信秀氏が評議員に選任された(任期平成21年1月24日～平成22年3月31日)

以上の議事の経過・結果を議事録にし議長及び議事録署名人がこれに署名、押印する。


平成21年2月2日

財団法人 総合工学振興会 平成20年度第2回理事会


議 長

吉田 邦夫 

議事録署名人

水野 哲孝 

議事録署名人

西郷 和彦 

以上

財団法人 総合工学振興会
平成20年度第2回評議員会議事録

1. 日 時 : 平成21年1月24日(土) 11時00分～12時00分
2. 場 所 : 山上会館会議室002(本郷東大構内)
3. 出席者 : 理事長:吉田邦夫 監事:佐分利正彦
土肥健純、川田雄一、中西 正、東海林義和、山本信之、松野泰也
4. 欠席者 : 加納啓良、渡邊公綱、平尾雅彦、溝部祐司、堂免一成、高橋 勉、鎗目 雅
5. 委任状提出者 : 加納啓良、渡邊公綱、平尾雅彦、溝部祐司、堂免一成、鎗目 雅
6. 定足数 : 会議に先立ち事務局長福田義夫から本会議定足数が報告された
評議員13名中6名出席、6名委任状提出。
定足数13名に対し有効数12名で評議員会は成立
7. 議長 : 議長に松野泰也評議員が選任された。
8. 議事録署名人の選出 : 議事録署名人として川田雄一評議員、中西 正評議員が選任された
9. 審議事項 : 審議事項は下記の通り
 - (1) 理事長挨拶 : 平成21年度事業計画と予算を審議願いたい。また平成22年度新公益法人移行を視野に入れて、午後から制度改革に伴う財団の方向性について懇談会を持つ
 - (2) 平成20年度事業概要報告(期中) : 事務局長福田義夫から以下の報告
研究助成金事業
 - 研究奨励金交付 : HP公募、期間 : 平成20年7月1日～8月8日
70万円×6件、決定・不採択通知書 : 平成20年10月17日郵送&HP公表
 - 国際交流推進助成 : 2件協賛
 - 科学技術普及助成 : 前年に引き続き小中学生向けに天文学教育へ人材育成事業
 - 公開講座 : 2回/M公開セミナー協賛
 - 国際シンポジウム開催 : 台湾での学会主催、ストックフォルムでの協賛賛助会員 : 退会1.5口、新規加入4口会議
 - 平成20年度第1回理事会、評議員 : 決算書(20年5月10日)
 - 研究奨励金交付の選考委員(20年9月22日)
 - 平成20年度第1回臨時理事会、評議員会 : 研究奨励金交付者承認(20年9月30日
書面表決)その他
 - 文部科学省の实地検査(20年8月26日)
 - 新公益法人制度改革の説明会(20年8月25日、12月10日)
- (3) 平成21年度事業計画書案及び収支予算案審議 : 事務局長福田義夫説明
 - 平成20年度同様に研究助成と人材育成事業を実施、管理費削減を継続して、賛助会員増を推進する
 - 利金と賛助会費の収入額で計画した事業支出には不足するので運用財産取崩しを行う
但し、別途検討推進中の事業からの収入が得られたら事業規模を拡大したり、取り崩

しを取止めることも起こる

- 審議の結果出席評議員全員の賛成で平成21年度事業計画案は承認された。

(4)その他


- 役員人事：評議員1名増員、理事会で富永信秀氏が選任予定


(任期平成21年1月24日～平成22年3月31日)

以上の議事の経過・結果を議事録にし議長及び議事録署名人がこれに署名、押印する

平成21年2月2日

財団法人 総合工学振興会 平成20年度第2回評議員会

議長 松野 泰也 

議事録署名人 川田 雄一 

議事録署名人 中西 正 

以上